

経営近況報告会



株式会社メディックグループ

The background of the slide features a dark gray field with faint, horizontal lines of binary code (0s and 1s) on the left side. On the right side, there is a white wireframe globe showing latitude and longitude lines.

1. 2007年12月期実績と最近の動向



企業理念と展開事業

<創業理念>

副作用の少ない、個人に適した「テーラーメイド創薬」の実現を目指す

バイオマーカー創薬支援事業

バイオマーカーなどの情報を活用し医薬品開発を支援する。

主要サービスはPGx試験を支援するPGxトータルソリューションサービスなど。

創薬事業

国内外の医薬品候補化合物を発掘し、独自に付加価値を高めていく。

現在、抗がん剤グルフォスファミドの国内臨床試験を進めている。

(その他)

既存の事業基盤を活用した健康管理支援を準備中



2007年12月期 事業ハイライト

バイオマーカー創薬支援事業

売上高 273百万円
前年同期比 34.0%増

- 売上・売上総利益増加
- SMO企業サイトクオリティ社 完全子会社化
- 事業基盤強化

創薬事業

開発段階にあるため
売上高計上なし

- グルフォスファミド 固形がんを対象とした国内臨床試験を開始(継続中)
- 海外試験結果では一部のがんで効果が見られた
- 国内試験は今期中に結果を発表する予定

健康管理支援

2008年 開始に向け
準備を進める

- 既存の事業基盤(創薬PGx)を活用。
- これまでのバイオマーカー創薬支援事業に加え、今後の売上貢献へ。



2007年12月期 業績(連結)

■主要経営指標(連結)

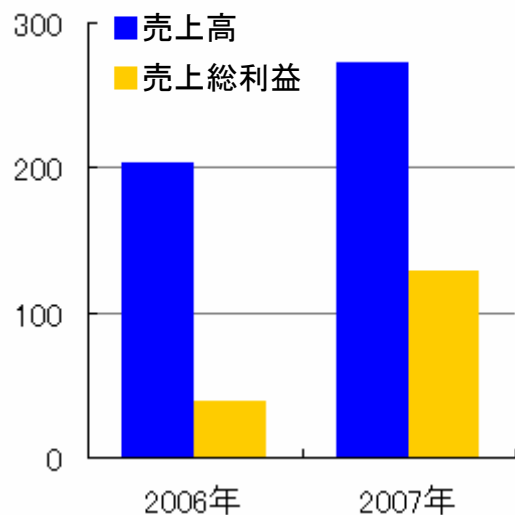
(単位:千円)

	2006年	2007年	差異
売上高	1,648,430	780,604	△867,825
経常利益	△38,642	△868,551	△829,909
当期純利益	△203,322	△1,314,775	△1,111,453
純資産	2,319,847	2,068,349	△251,497
負債	1,759,870	145,639	△1,614,230
総資産	4,079,717	2,213,989	△1,865,728

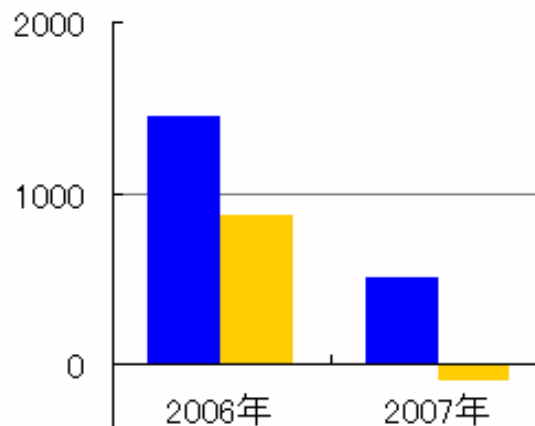
投資・投資育成事業スピンオフや固定資産等評価損による特別損失により、大幅な赤字計上。資金調達によりキャッシュフロー安定化、負債は大幅に改善。

2007年12月期 業績(セグメント別)

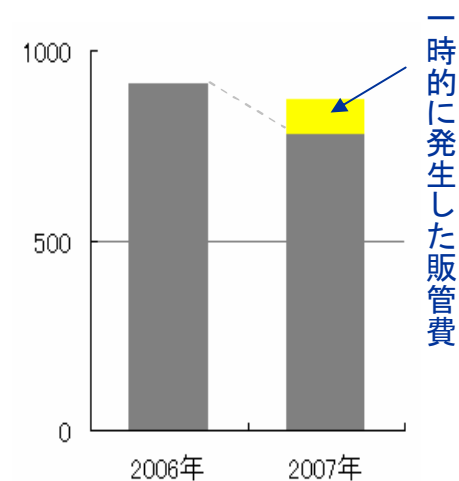
バイオマーカー創薬支援事業 … 売上高 +34%増。売上総利益も増加。
投資・投資育成事業 … 下期連結外。投資損失引当金等で売上・利益共に、前年比大幅減。
販管費 … 削減は5%に留まる。再編のため一時的にかかる費用 約92百万発生のため。
 2008年は期首からの再編施策実行により約35%の削減予定。



バイオマーカー創薬支援事業



投資・投資育成事業

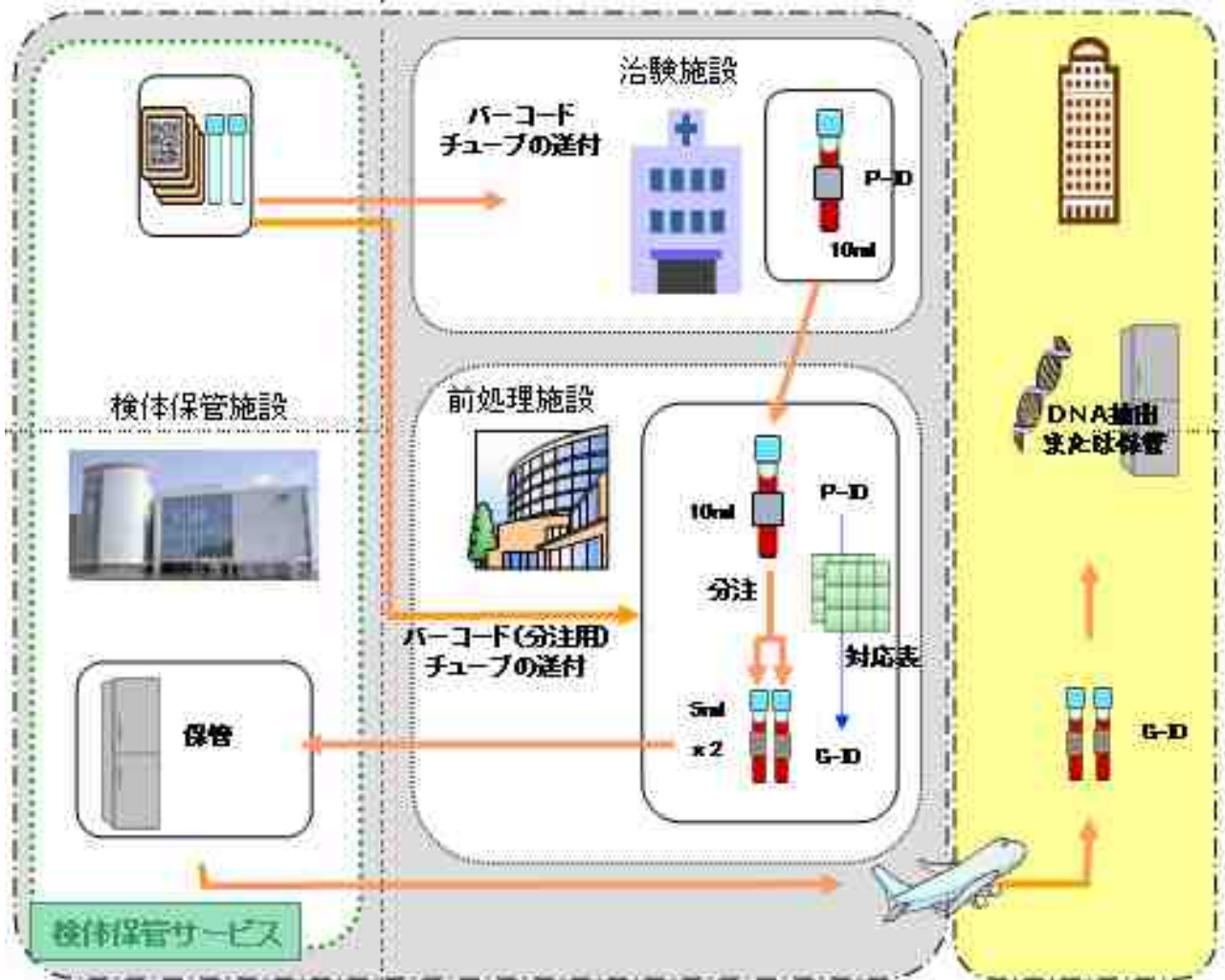


販管費

バイオマーカー創薬支援事業 メディビック PGx試験支援サービス

- ・総合的 戦略的
- ・高水準な支援体制
- ・圧倒的実績、経験
- ・主要顧客である製薬企業の高い顧客満足度

- 品質管理
- 災害対策
- セキュリティ管理
- 安全対策
- 一元管理システム



MediBic

©MediBic Group 2008 All Rights Reserved



メディビック 検体バンキングサービス



- (財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター
- 高いセキュリティー管理、安全・災害対策
- 高水準の品質管理(一元管理システム)
- 超低温フリーザー
- 液体窒素タンク
- 匿名化システム
- DNA抽出及び解析技術 稼動開始

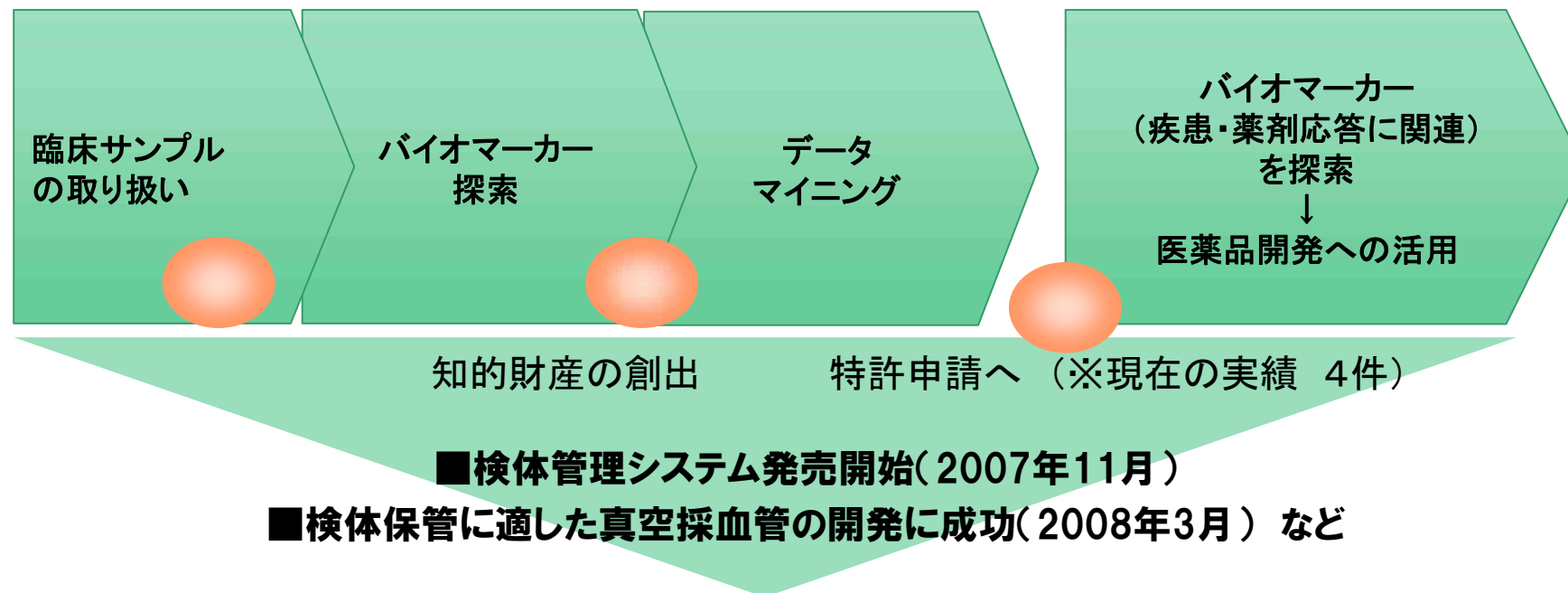
公的機関との共同事業。国内最大規模の検体保管施設を利用。GLP準拠の組織体制とSOPを完備した検体の保管・管理を行う。07年基盤強化が進む。

MediBic

©MediBic Group 2008 All Rights Reserved

メディビック 基盤技術の強化と 知的財産の創出・活用

バイオマーカー創薬支援事業



バイオマーカー創薬支援事業で蓄積した基盤技術は、真空採血管の開発成功など、さまざまな特許製品を生み出し、活用領域も拡大⇒ ビジネスチャンス

事業環境の整備 JMAC設立

■バイオチップコンソーシアム

- ・Japan MicroArray Consortium。略称JMAC(ジェイマック)
- ・経済産業省主導のもと、メディビックを始め、東芝・東レなどのバイオチップに関連する産業界が、バイオチップの標準化、産業化を目指して業界団体JMACを2007年10月に設立。現在、ワーキンググループが定例で行われている。メディビックは事務局を務めている。



JMAC設立総会と
事務局を務める弊社の中江常務取締役

バイオチップの国内標準化・産業化の促進は、**テーラーメイド創薬の実現**や、**PGx活用**を進めていく上で、**必要な環境づくり**。JMAC設立の一助を担った。



創薬事業 グルフォスファミドの開発

適応	'04	'05	'06	'07	'08
海外 (Threshold社)	すい臓がん	P III			
	すい臓がん (GEM併用)	P I / II			
	小細胞肺癌			P II	
	卵巣がん			P II	
	軟部組織肉腫			P II	
国内 (メディック)	固形がん			P I	

米国スレッシュホールド社と共同開発中で、国内では当社が固形がんを対象とした第 I 相臨床試験を実施中。2008年中には試験結果を発表する予定。



投資・投資育成事業

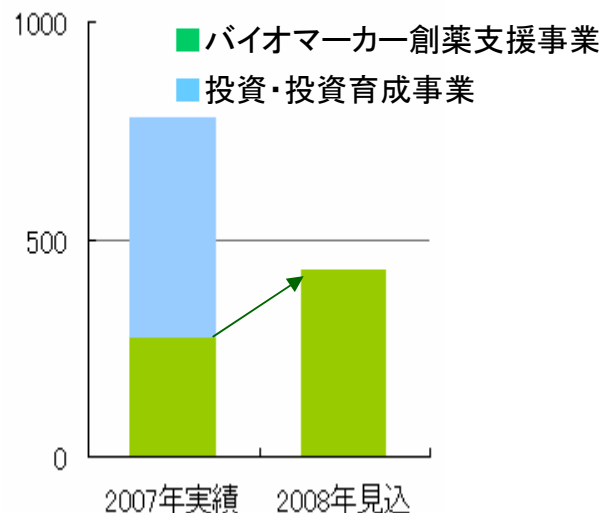
■役割を終えスピノフ。グループ連結対象外に。

- ・新生MediBIC Group 2007を発表しバイオに事業を集中。その一環として、投資・投資育成事業を中間期にて分離（連結子会社から持分法適用会社に異動）。
- ・事業子会社(株)メディビック・アライアンスのスピノフによる。
- ・同社は、2008年1月、Asia Private Equity Financeへ社名を変更。
- ・グループの連結決算では、投資損失引当金等により売上・利益共に前年比大幅減。

The background features a dark gray field with faint, horizontal lines of binary code (0s and 1s) on the left side. On the right side, there is a white wireframe globe showing latitude and longitude lines.

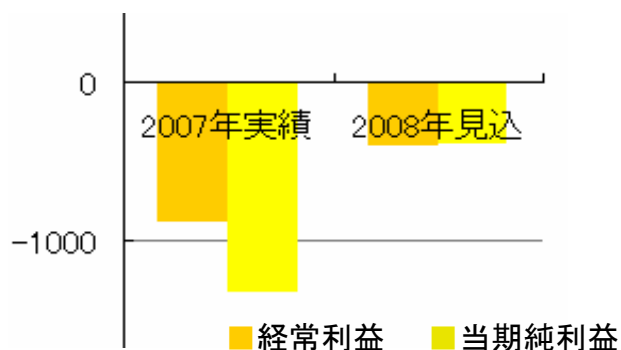
2. 2008年12月期見通しと 当面の目標

2008年12月期 見通し（連結）



(単位:百万円)

	2007年 実績	2008年 見込	差異
売上高	780	427	-353
経常利益	△868	△395	+472
当期純利益	△1,314	△381	+932



投資事業完全分離により売上減だが、
バイオマーカー創薬支援事業売上 55%増、
販管費削減35%(約3億円)により、
利益は大幅な改善見込み。

2009年黒字化へ。



2008年12月期 見通し（セグメント別）

■ バイオマーカー創薬支援事業

- ・PGx試験支援サービス（PGxトータルソリューションサービス）の一層の受注拡大に努める。
- ・検体保管用の真空採血管の実用化に目処。今期中の発売開始を目指す。

■ 創薬事業

- ・抗がん剤グルフォスファミド 固形がんを対象とした国内第 I 相臨床試験を継続して進める。
年内には試験結果の発表を目指す。

■ 健康管理支援の準備・開始

- ・個人の遺伝子を保管し、最先端の検査結果を提供することで、個人の健康管理に役立てる健康管理支援を準備中。今期開始予定。



PGxを取り巻く世界の動向（行政） とメディビックPGx



米国食品医薬品局 (FDA)

05年3月 新薬申請のためのファーマコゲノミクス・データ提出(任意提出)のガイダンス発表。その後も、PGxに関わるさまざまな公式文書の発表を続け、PGxを強かに推進している。



日本 厚生労働省

05年3月 パブリックコメントの結果を公表。
05年3月 米国でのガイダンスを受けて、「医薬品の臨床試験におけるPGx(ファーマコゲノミクス)の利用指針」を作成すべく、治験における遺伝子データの報告を通知。



欧州医薬品審査庁 (EMA)

06年11月 米国FDAと共同でPGxに関わるガイダンスを発表するなど、米国同様、精力的に取り組まれている。

製薬協

08年3月 PGx実施の自主基準を発表

国内でも、PGx活用の環境整備が進んできた。

当社にとって、追い風となっている。

MediBic

The background features a dark gray field with faint, horizontal lines of binary code (0s and 1s) on the left side. On the right side, there is a white wireframe globe showing latitude and longitude lines.

3. メディビックが準備を進めている 健康管理支援とは



健康管理を選べる時代に(1)

ぼけの防止



- A. なってから考える
- B. なる前に予防したい

メディビックが準備を進めている健康管理支援を利用すると……

体質がわかり、
予防を準備できる。

健康管理を選べる時代に(2)

糖尿病



- A. なってから考える
- B. できれば予防したい

メディビックが準備を進めている健康管理支援を利用すると……

ならずには予防できる。
なっても治療方針が推測できる。



健康管理を選べる時代に(3)

おじいちゃんにも
幸せに生きてほしい…
(発症予測・予防医療)

家族と幸せな人生を
過ごしたい

家族が入院しても
早く直ってほしい…
(効果的な薬の処方)


お父さんに安心して
仕事に励んでほしい…
(健康管理)



怖い薬の副作用。
できるだけ避けたい…
(副作用の回避)

メディビックが準備を進めている
健康管理支援があると実現!?

MediBic



メディビックが準備を進めている 遺伝子を活用した健康管理支援とは

**個人個人の遺伝子を保管し
最先端の検査結果を提供。**

**個人の健康管理に役立つ
健康管理支援サービス。**

**遺伝子検査に基づく体質を理解し、
検査・予防・治療を行う。**



MediBic

©MediBic Group 2008 All Rights Reserved



遺伝子を活用した健康管理支援で 何が変わるか

検査会社Aで調べた遺伝子結果
検査会社Bで調べた遺伝子結果
検査会社Cで調べた一般検査結果

検査結果はその都度利用。
治療や健康管理など
必要なときに
活用しきれていない

一元管理

- ・体質タイプが把握できる
- ・適した治療・健康管理が分かる
- ・有用時に必要な関係者が活用可

個人の遺伝子データの
分析と一般検査データも
含めた一元管理を行う
ことで、より効果的な治療や
『健康管理』が望める

個人個人の遺伝子を保管して分析すると、体質を把握できる。個人の体質にあった検査・予防・治療ができる健康管理支援の新サービス展開開始へ。



遺伝子情報の活用事例

健康



病気



疾病素質(体質)診断



体質を理解し、適切な予防、発病確率低下

遺伝子疾病の診断



効果的な治療法の選択

薬剤感受性の診断



副作用の少ない薬剤の選択

遺伝子予後診断



再発早期発見ができる

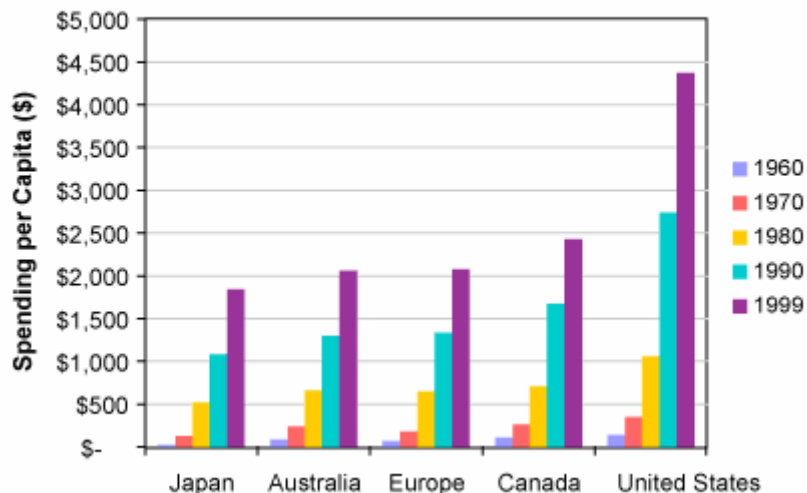
リスク保有者や罹患者は、医療者や保険指導者などから、より効果的な判断を受けられる。さらに、自らが積極的な健康改善に取り組める。

世界の医療費と健康管理へのシフト

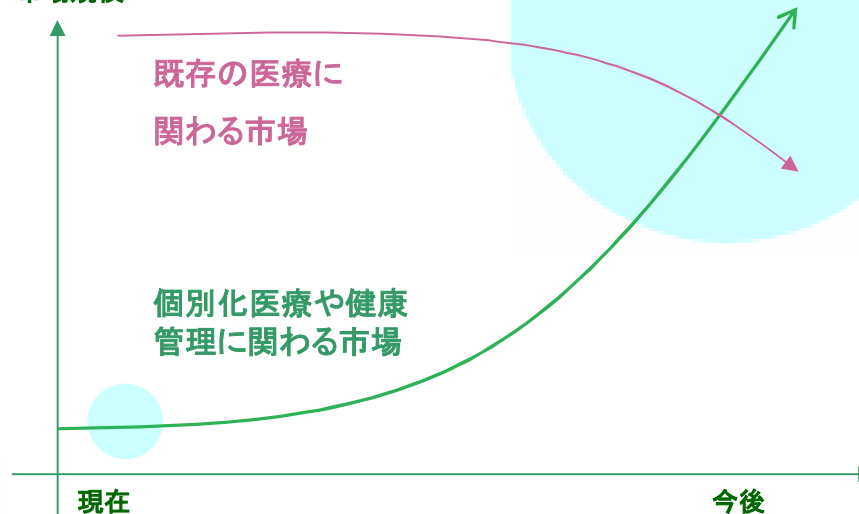
医療費削減問題×バイオ技術の発展

遺伝子などの生体情報の解明で、より効率的な投薬・治療（個別化医療）、および健康管理（予防医療）化が可能に。

世界的に増加している 1人あたりの医療費

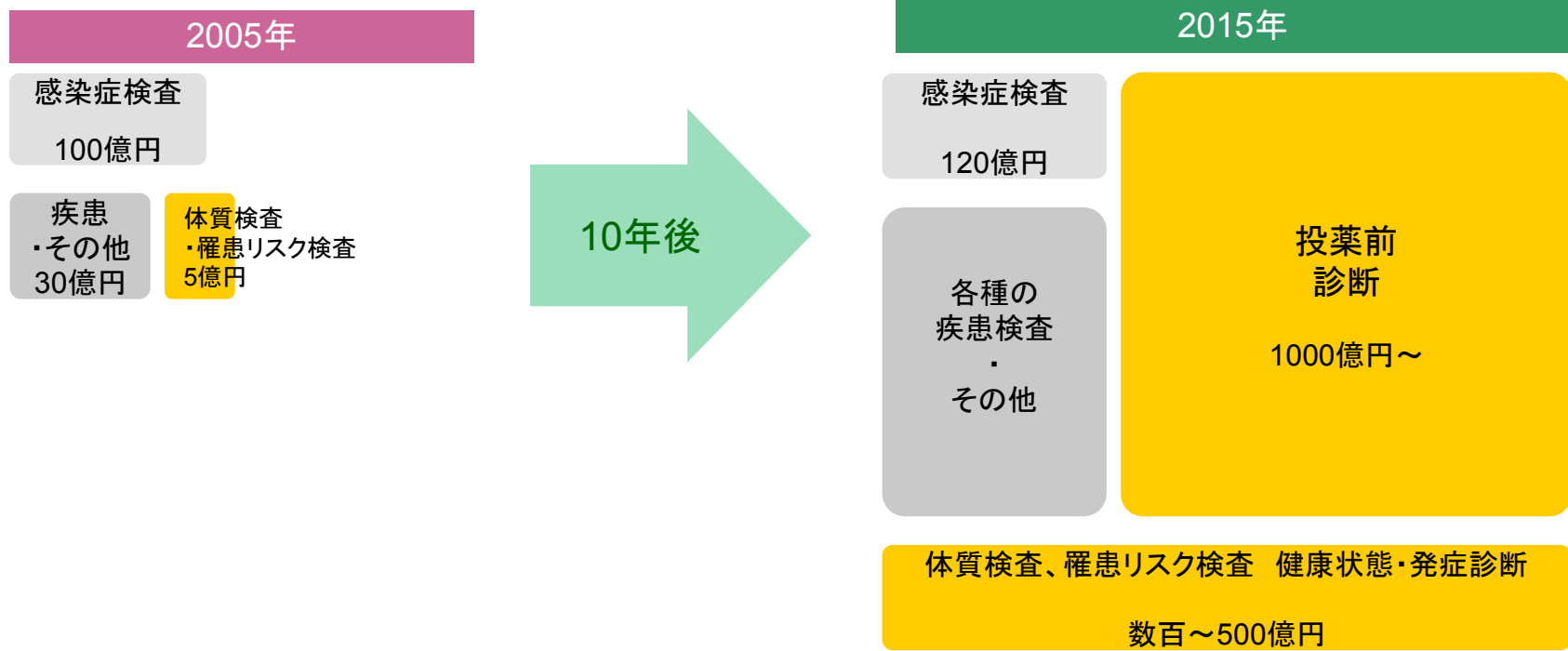


市場規模



行政課題と技術進歩がマッチしていることさらに、健康管理においては、医療・医薬品ほどに規制などに捉われないことから、「遺伝子情報」を活用した個別化医療や健康管理ビジネス（個人向けPGxサービス）が急速に広まりつつある。現在は黎明期。

健康・診断(検査)市場の 国内マーケットの展望



2006年9月 シード・プランニング社調べ

予防医療・個別化医療への国策と並行し、国内での個人向け遺伝子解析や健康管理を行う検査市場も拡大していく、と予測できる。



海外 遺伝子検査を利用した 健康管理支援が進む

■23andMe(米国)

Google出資※の企業。2007年11月に米国で、2008年1月からカナダ、欧州49カ国で、Webベースの遺伝子情報サービス開始。
個人がWebベースのインタラクティブツールと最新のDNA分析を通じ、自分の遺伝子情報を入手できるというサービスを廉価で提供開始。

※ Googleの出資額は390万ドル

■DNAdirect社(米国)

個人ベースの遺伝子検査を始めるなど、健康管理事業を開始。

健康・診断市場の世界では、個人向けの遺伝子解析や健康管理支援を行う、
遺伝子検査を利用した個人向けの健康管理支援ビジネスが台頭し始めている。

メディビック 健康管理支援 生活はどう変わる？(1)

Management 健康管理

経験で判断
⇒発覚が遅く、病気に
なりやすい。

Prevent 副作用

投薬後に確認
⇒体質に合わなければ
副作用が発生

Emergency 救急時

治療後に判断
⇒体質に合わなければ
別の治療へ(長期化)

メディビックの健康管理支援を利用すると…… ※

体質を理解して効果的な
健康管理が行える
(生活習慣病悪化防止)

体質を理解して副作用を
避けた最適な薬を投与


体質を理解して
的確な治療(早期回復)

※提供するサービスには対象外のものもございます。
詳しくは、サービス開始後にお問合せください。

より健康で快適な暮らしを

MediBic

©MediBic Group 2008 All Rights Reserved



メディビック 健康管理支援 生活はどう変わる？(2)

自分の体質を正しく把握できれば



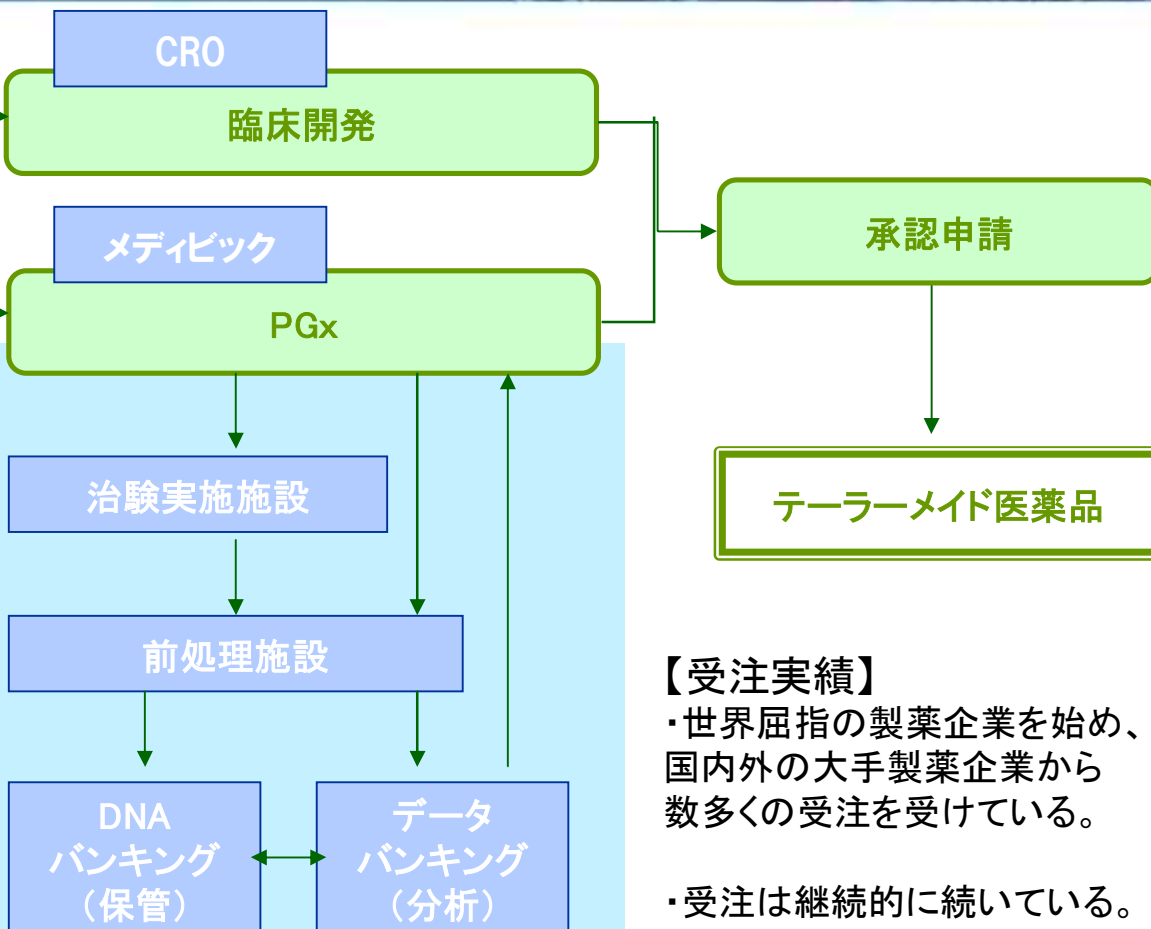
発症するリスクを下げる／個人に合った薬を見つける ことができる

既存の事業基盤の活用 PGx支援(製薬企業医薬品開発向け)

製薬企業
臨床開発
(PGx試験を伴う)

- 品質管理
- 災害対策
- セキュリティ管理
- 安全対策

当社独自に開発した
匿名化システムや
一元管理で高品質な
サービスを提供。



【受注実績】

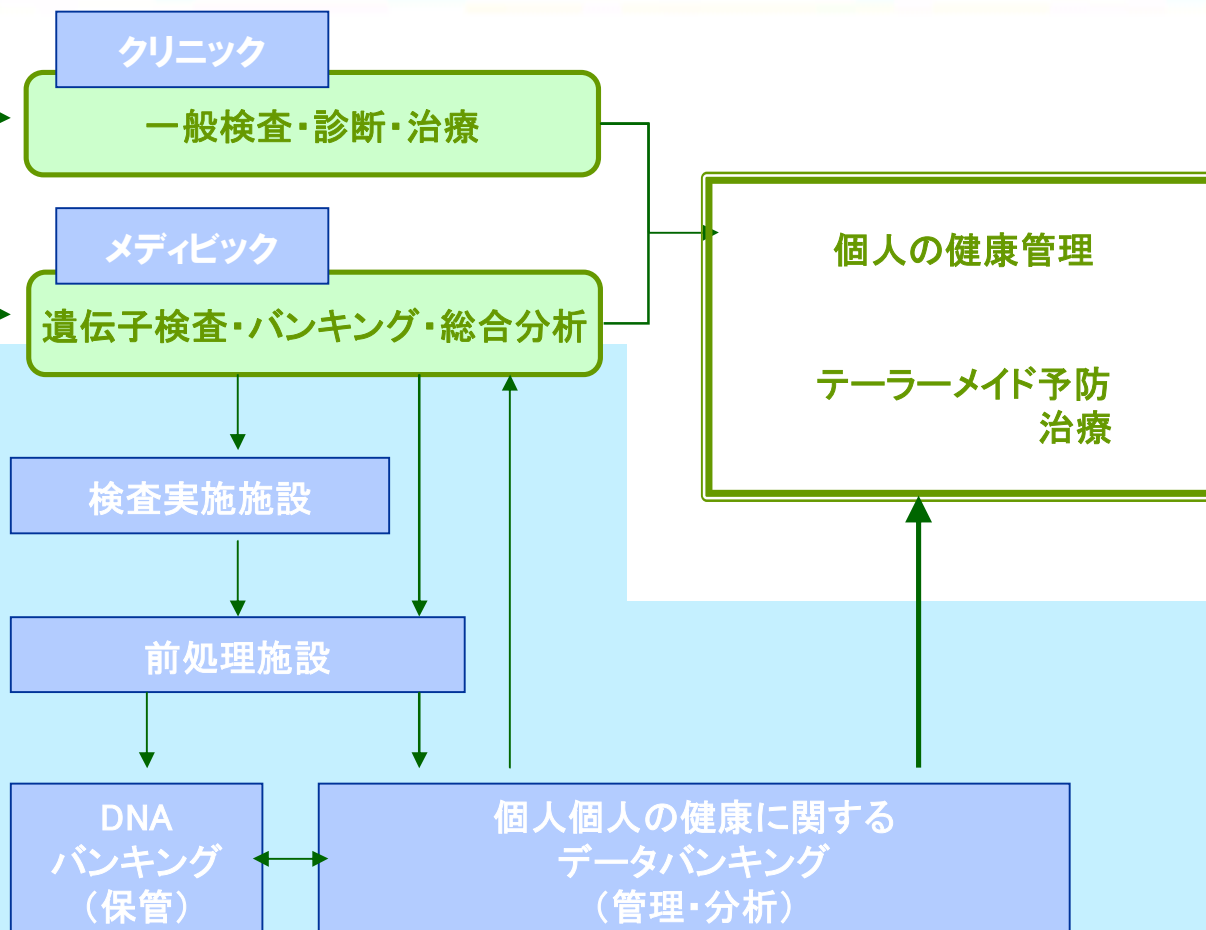
- ・世界屈指の製薬企業を始め、国内外の大手製薬企業から数多くの受注を受けている。
- ・受注は継続的に続いている。
- ・大手製薬企業の査察済み。


現在準備を進めている遺伝子を活用した健康管理支援（個人向け）

個人
健康管理
(遺伝子検査を含む)

- 品質管理
- 災害対策
- セキュリティ管理
- 安全対策

製薬企業向けの
ハイスペックなサービスの
事業基盤をそのまま
活用。





国内唯一の健康管理支援 メディビックの強みとは

- ・個人向けの健康管理支援のビジネスとして、当社の提唱する**サービス**を提供する企業は**存在しない**。
- ・一方、メディビックは、技術的に**参入障壁の高い**この分野で、このサービスに関する**高い技術力や経験(ノウハウ)・情報**をすでに蓄積している。
- ・今回のサービスでは、国内外トップクラスの製薬企業から**高い評価と信頼**を受けている、PGx支援の事業基盤をフルに活用。実績・信頼に加え、**安心・安全なサービス**を提供できるという面で、**非常に高い競争力**を持っている。

メディビックは遺伝子を活用した健康管理支援という、これまでになかったサービスで国内No1シェアを獲得できる最有力企業です。



まとめ：メディビックの健康管理支援 ～体質に合った薬や治療法を選ぶ～

メディビックが準備を進めている
健康管理支援は
まったく新しい手法の健康管理です。

— 健康管理は選べる時代に —



今後のメディビック

バイオマーカー創薬支援と 健康管理支援への集中

個人の体質に合った
副作用が少なく、効果が高い
医療や薬の処方を受けられる



個別化医療の実現へ

MediBic

©MediBic Group 2008 All Rights Reserved

The background features a dark grey field with faint, horizontal lines of binary code (0s and 1s) on the left side. On the right side, there is a white wireframe globe showing latitude and longitude lines.

4. 卷末資料

株式会社メディビックグループ 会社概要

設立	2000年2月17日
本社	〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-6 ニュー西新橋ビル5F
資本金	20億5,839万円
発行済株式総数	176,242.35株
代表者	代表取締役社長 橋本康弘
株主構成	個人・その他53%、外国法人等42%、事業会社・その他法人3%、証券会社・金融機関2%
公開市場	東証マザーズ（証券コード2369 決算期は12月）
主な事業内容	バイオマーカー創薬支援事業、創薬事業

持株会社

株式会社メディビックグループ

上海事務所（中国）

グループ企業

関西ラボ

株式会社メディビック

株式会社サイトクオリティ

MediBIC Life Sciences, Inc.

株式会社メディビックファーマ

株式会社Asia Private Equity Capital

MediBic

Generation Group

- ・バイオ企業への投資実績を持つ
- ・当社のビジネスモデルに深い理解を示す
緊密なパートナーシップが望める
- ・中長期的な経営改善による事業価値の
向上を投資方針としている
- ・協業を望める優良企業への投資も活発に行っている

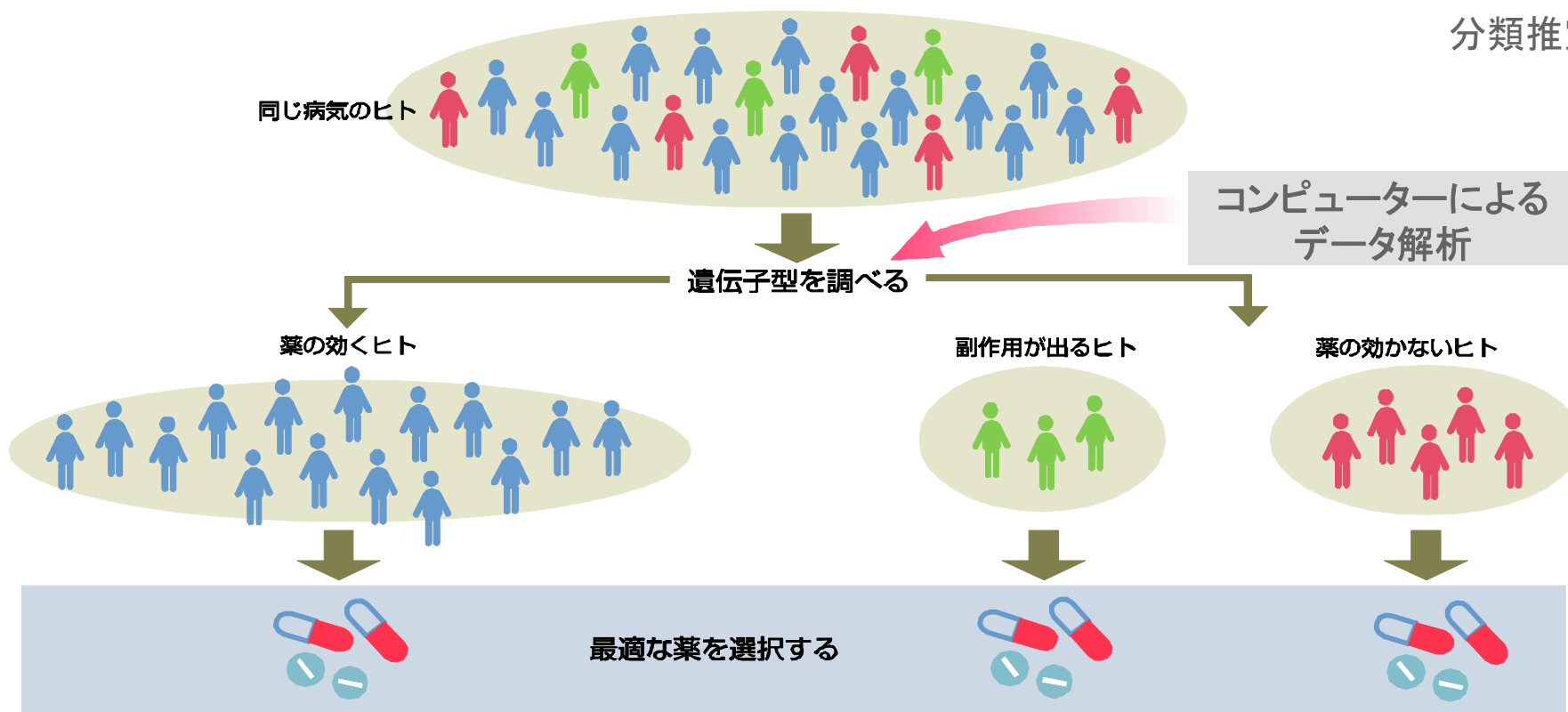


当社グループにとって企業価値を高められるパートナー

解説 テーラーメイド創薬

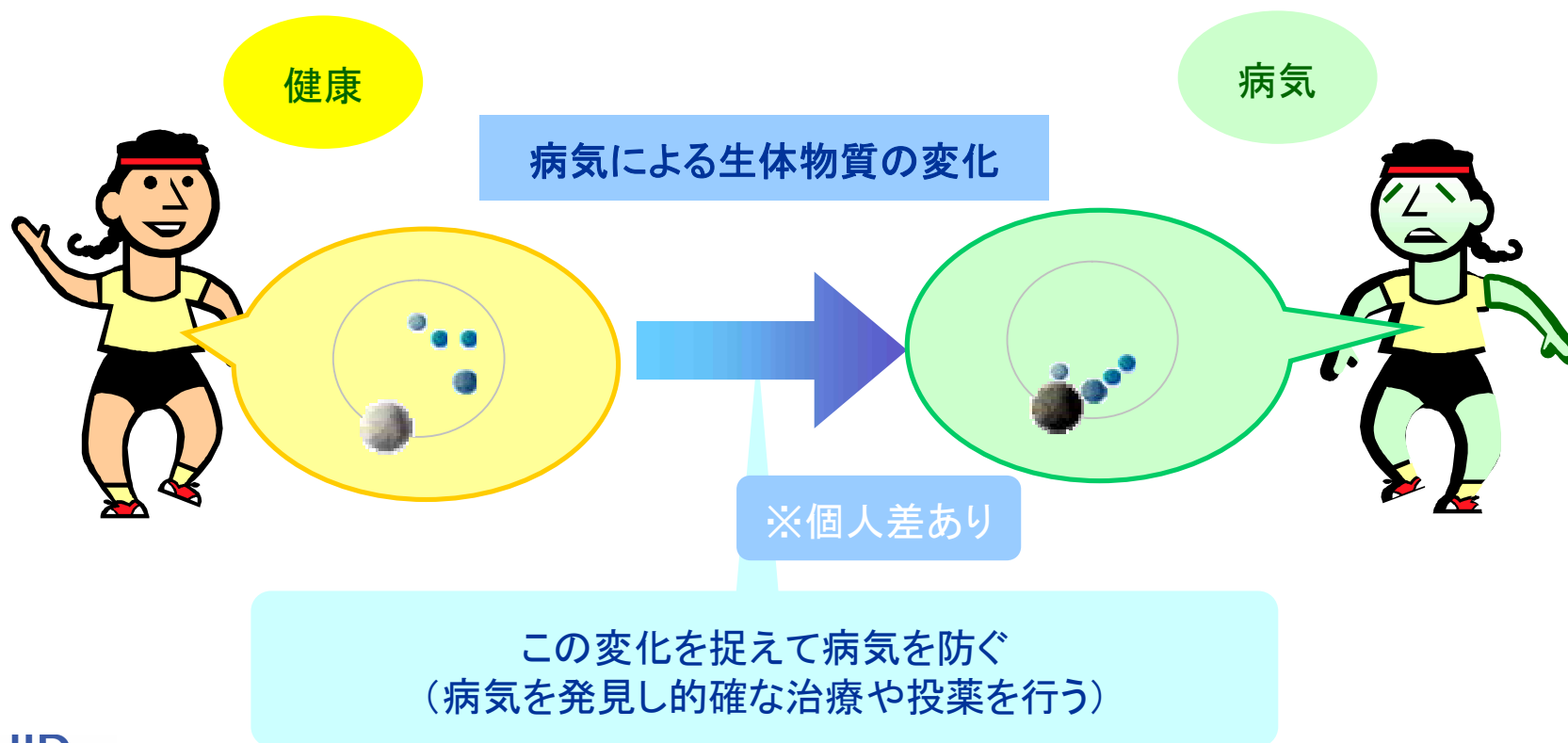
遺伝子に加えて、たんぱく質解析、メタボローム解析などのバイオマーカーを活用する。

薬の投与前に、
効く人・効かない人を
分類推定



解説 バイオマーカー

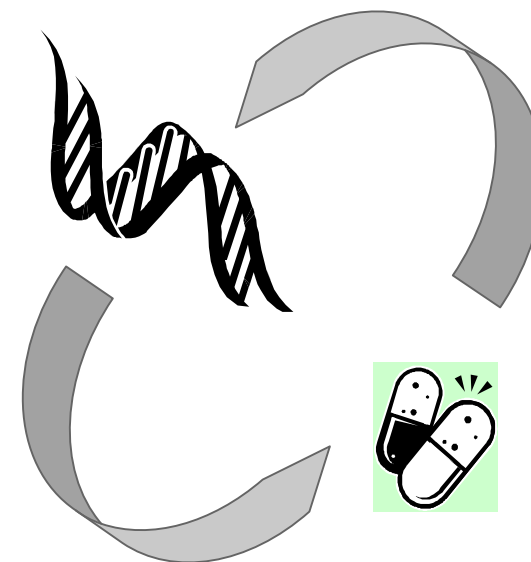
バイオマーカー 体内の生物学的変化を定量的に把握するための指標



解説 PGx試験

PGx試験 薬の効き目や副作用と、遺伝子の関係を調べる試験

病気を薬剤の効き目や副作用と遺伝子との関係を調べる試験。このような遺伝子情報に基づいた結果を利用することで、より安全で効果の高い薬の処方、また、そのような医薬品を効率的に開発出来るようになる。



※ PGx (ファーマコゲノミクス Pharmacogenomics)

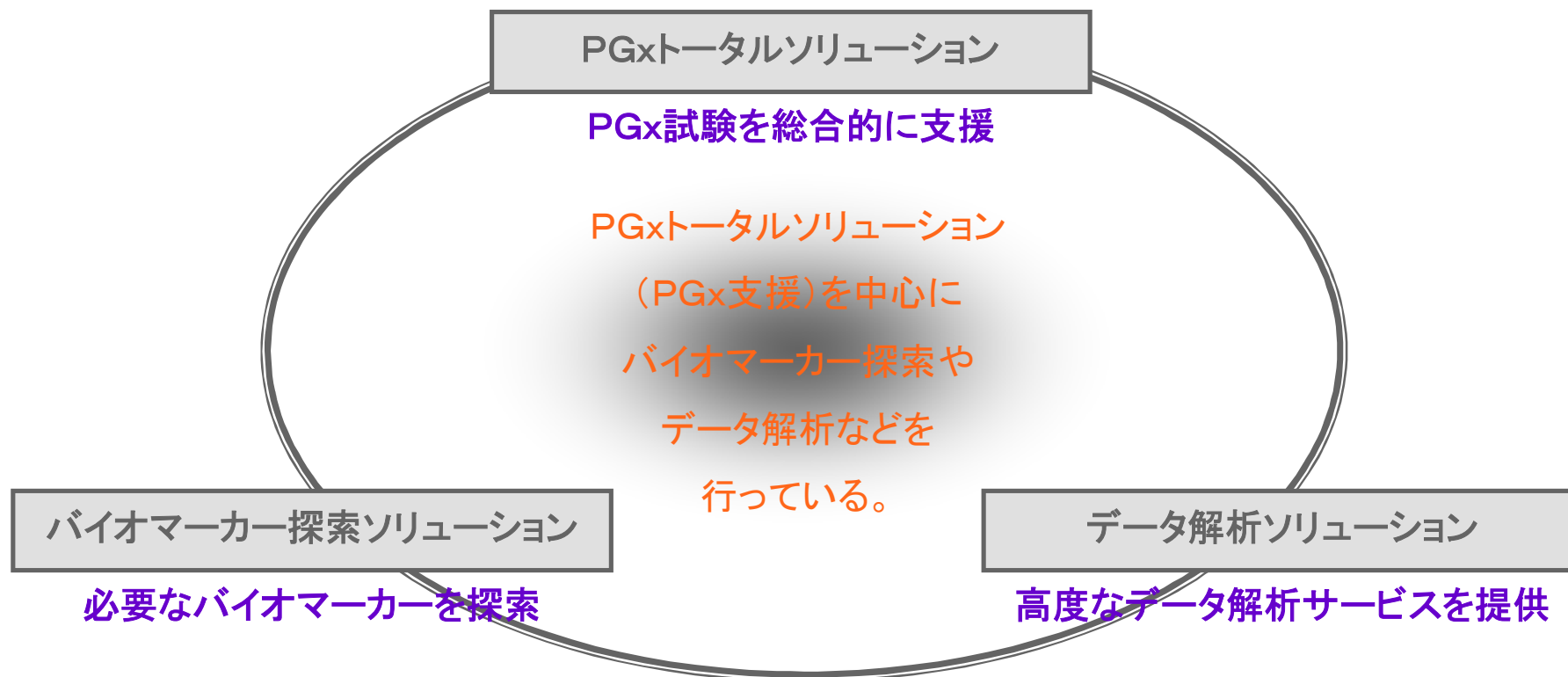
メディビックは、PGx試験を全面的に支援できるサービス体制を構築している

MediBic

©MediBic Group 2008 All Rights Reserved

解説 バイオマーカー創薬支援事業

バイオマーカーなどの情報を活用し、テーラーメイド創薬を促進する医薬品開発を支援している。主要顧客は製薬企業や研究機関。





株式会社メディビックグループ



【当資料の取り扱い注意点】

本資料に記載されている、当社または当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事業の認識、評価などといった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に係わらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

www.medibic.com